

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	59	管楽器ソルフェージュ	4単位	通年
指導講師	飯吉 高			
授業のテーマ	管楽器を演奏するための実践的なソルフェージュのとらえ方を学びます。			
授業計画及び内容	<p>ソルフェージュとは、一般的には音を聴きとったり、初見で音を読み取って歌ったり、というイメージで、音楽大学の受験のための面倒な勉強と思われがちですが、この授業では、管楽器を演奏するための実践的なソルフェージュのとらえ方を学びます。</p> <p>教材は、声楽の教本である「コンコーネ50番」を使用し、歌うことを中心に進めますが、ただ歌うのではなく、音程感、理論を理解して、なおかつ音楽的説得力をも習得できることを目指します。</p> <p>そして、それを楽器演奏にどのようにつなげていくか、管楽器ならではの技術的課題を明確にしていく事を目指します。</p>			
教材・参考書	コンコーネ50番（中声用）			
成績評価の方法				
履修上の指示事項	各自の管楽器を用意してください。（管楽器以外の方もソルフェージュとして履修可能です）			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	60	指揮法と合奏法	6単位	通年
指導講師	箕輪 健太			
授業のテーマ	指揮法と合奏法の両方法論を探究し、指揮者と演奏者の相互関係、テクニック（指揮）、指揮の見かた・感じ方（合奏法）、音楽の作り方、コミュニケーションなどを学び、自身の音楽の向上を目指します。			
授業計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指揮法ではアンサンブル（オーケストラ、吹奏楽、合唱など）を指揮、指導していく上でさまざまな知識、正しい指揮法を学び、自身の音楽や表現方法の幅を広げ、様々な視点から音楽を探究する力を養っていきます。合奏法では複数の楽器や声と同時に演奏する際の技術（リズムの合致、音程の合致、音色の統一など）を学びます。 ・この授業ではこの二つの方法論を同時並行しながら学びます。指揮法は実際にアンサンブルの指揮をすればするほど理解が深まり、演奏者も実際の指揮を経験しながら合奏法を学んでいけば、すぐに自身の音楽、技術に結びつけることができます。 ・指揮者と演奏者の関係は指揮法と合奏法の関係ですので、両方の知識を養い、これからの自身の音楽の発展に繋げていくことを目指します。 ・指揮法では手の動かし方、図形の描き方、身振り手振りの意味などを一から学んでいきますので、初心者の方も安心して履修可能です。 ・授業履修の方法ですが、例えば前期は指揮法に専念し、後期は合奏法に専念という履修方法も可能ですし、その逆も大丈夫です。初心者の方、アンサンブルの好きな方、指揮を学びたい方、合奏で疑問を持っている方、様々な方の履修をお待ちしています。 			
教材・参考書	楽譜やプリントを配布します。			
成績評価の方法	出席状況と学習に取り組む姿勢。			
履修上の指示	合奏しながら授業を進めるため、できるだけ自分が演奏できる楽器をお持ちください（学校楽器可、その場合は取扱注意）。ピアノや打楽器での履修も可能です。また楽器なしでも履修は可能です。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	61	クラリネットオーケストラ	4単位	通年
指導講師	深江 彰			
授業のテーマ	同族楽器によるアンサンブルで音色を磨き、アンサンブル能力、演奏技術を高める。			
授業計画及び内容	<p>同族楽器による大編成のアンサンブルでEsクラリネットやアルトクラリネット、バスクラリネット、コントラバスクラリネットなどの特殊管も使用し様々なジャンルの曲にチャレンジする。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート 			
教材・参考書	クラリネットクワイアのオリジナル作品及びアレンジ作品。			
成績評価の方法	コンサート参加の有無。授業態度、アンサンブル能力等、特に優れている場合評価の対象にしたい。			
履修上の指示事項	クラリネット経験者。 特殊管以外は原則、個人所有の楽器をお持ち下さい。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	62	室内楽（サクソフォン）	4単位	通年
指導講師	成田 徹			
授業のテーマ	基礎能力とアンサンブル能力を育てる。			
授業計画及び内容	<p>サクソフォン4重奏 ソプラノからバリトンまでサクソフォン4本を使った編成で、オリジナルからアレンジものまで幅広い曲を勉強していきます。</p> <p>秋にはオーディションがあり優秀な団体は演奏会に出演します。</p> <p>出来れば4人とも同じくらいのレベルでやるのが望ましいのですが人数等の都合にもより希望に添えない場合があります。</p> <p>受け持つ楽器に関しては、出来るだけ希望を取り入れます。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート 			
教材・参考書				
成績評価の方法	出席。			
履修上の指示事項	サクソフォン専攻生。受講生の演奏レベルを統一したいと思います。 原則、個人所有の楽器をお持ち下さい。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	63	室内楽（クラリネット）	4単位	通年
指導講師	山口 由夏			
授業のテーマ	クラリネットでのグルーブレッスンで主張と協調のバランスを学ぶ。			
授業計画及び内容	<p>同族楽器のアンサンブルを経験する中で、各パートの役割を理解し、合奏能力を高める。グルーブレッスンの中で個人レッスンでは味わえない主張と協調性のバランスを学ぶ。演奏会前に補講が入る可能性あり。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート <p>平成16年度 日本クラリネット協会主催「第1回クラリネットアンサンブルコンクール」第3位受賞（室内楽履修クラリネット4重奏） 平成17年度 第2回、同コンクール第2位受賞（卒業生クラリネット4重奏） 平成20年度 第5回、同コンクール入賞（室内楽履修クラリネット4重奏） 高齢者施設、障害者施設への慰問演奏多数。 毎年高い水準を維持し、卒業後の音楽人生にプラスになるような授業を行っている。</p>			
教材・参考書	クラリネットアンサンブルのオリジナル作品及びアレンジ作品。			
成績評価の方法	出席日数、学習態度、積極性、アンサンブル能力。			
履修上の指示事項	クラリネットでアンサンブル演奏が可能なレベルの方。初心者不可。クラリネット専攻生以外でも可。特殊管以外は個人所有楽器が望ましい。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	64	室内楽（フルート）	4単位	通年
指導講師	若土 祥子			
授業のテーマ	フルート演奏での基礎能力とアンサンブル能力を養う			
授業計画及び内容	<p>お互いの音、音程を聴いて合わせられ、ハーモニーを作ることが出来る耳と技術を育て、自分が演奏しているとき、他のパートで何が起きているのか？作品を通して全体のバランスをつかめる様、アンサンブル能力を高めて行きます。</p> <p>履修生の人数にもよりますが、フルートアンサンブルの小編成のものから、人数によって特殊楽器を用いたフルートオーケストラの大編成等で進めて行きます。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート 			
教材・参考書	フルートアンサンブルのオリジナル作品及びアレンジ作品。			
成績評価の方法	出席日数及びアンサンブル能力。			
履修上の指示	フルート専攻生。受講生の演奏レベルを統一したいと思います。原則、個人所有の楽器をお持ち下さい。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	65	金管バンド	6単位	通年
指導講師	飯吉 高			
授業のテーマ	イギリスで発展し、世界中で親しまれているサクソフン属中心の金管合奏を実際に体験し、アンサンブル能力の向上と金管バンドの魅力を追求する。金管楽器、打楽器の経験者の履修を募ります。			
授業計画及び内容	<p>合奏の基礎を学習できるものから、難度の高い大曲まで能力に応じて選曲する。 学院主催の演奏会に出演する以外に、入学式、卒業式等でも演奏を行う。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート、入学式・卒業式 			
教材・参考書	基本的に楽器、楽譜、参考音源は学院が用意します。			
成績評価の方法	出席数、取り組みの真剣さ、演奏能力などから総合的に評価を行います。			
履修上の指示事項	一人でも欠席があると、合奏上重大な支障を生じる可能性があるため必ず毎回出席すること。 楽器、楽譜の管理は各自が責任を持つこと。編成上、専攻楽器以外の楽器に持ち替える可能性があります。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	66	初心者弦楽アンサンブル	4単位	通年
指導講師	澤田 若菜 / 箕輪 健太			
授業のテーマ	ソロとは違った楽しさを感じてみませんか？皆様の「この様な演奏がしたい！このイメージ演奏したい」という気持ちが演奏に現れるとアンサンブルになります。			
授業計画及び内容	<p>この授業は弦楽アンサンブルを楽しく学んでいくクラスです。 楽器未経験者、経験者問わず誰でも履修ができます。 未経験者、初心者の方は楽器の持ち方などの基礎から一緒に学んでいきましょう。</p> <p>また上級者の方は、初級者の方の基礎をサポートをする事で、様々な気づきを得ながら、指導者として活躍していく上での指導力がつく事になります。 コンパクトなアンサンブルは様々な場面で重宝されます。 ピアノでの参加可能です。</p> <p>国立音楽院主催の各種コンサートへの出演もあります。 気になる方は是非一度授業にいらして下さい。</p>			
教材・参考書	楽譜は適宜レベルに合わせ選択。楽器は持参。楽器を持っていない場合でも大丈夫です。			
成績評価の方法	総合評価			
履修上の指示事項	クラシック・ポップス・ディズニー・フィーリング・映画・ドラマ・アニメ音楽等、多ジャンルです。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	67	弦楽アンサンブル	4単位	通年
指導講師	飯吉 高 / 小泉 奈美			
授業のテーマ	コンサートレベルのアンサンブル技術の習得を目指す。 ある程度自分の楽器を自由に扱えるレベルの弦楽器専攻生。			
授業計画及び内容	<p>レベルに応じて弦楽合奏の名曲を学びます。 アンサンブルの中のそれぞれの役割、合わせ方、個性の主張の仕方等を幅広く、楽しく学んでいきましょう。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート、入学式・卒業式 			
教材・参考書	楽器：各自持参 楽譜：学院所有のもの各自用意のもの適宜。			
成績評価の方法	総合評価。			
履修上の指示事項				

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	68	初心者のための管弦アンサンブル	4単位	通年
指導講師	箕輪 健太 / 澤田 若菜			
授業のテーマ	弦楽器、管楽器など様々な楽器の音を感じ、アンサンブルを楽しく学んでいきます。			
授業計画及び内容	<p>授業は誰でもアンサンブルを楽しく学んでいくクラスです。 楽器未経験者、経験者問わず誰でも履修できます。(どんな楽器でも可能です)</p> <p>未経験者、初心者の方は基礎から一緒に学んでいきましょう。 また経験者の方は、初心者の方のサポートをする事で、様々な気づきを得ながら、指導者として活躍する上での指導力がつく事となります。</p> <p>国立音楽院主催の各種コンサートへの出演もあります。 気になる方は是非一度授業にいらしてください。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート 			
教材・参考書	楽譜やプリントを配布します。			
成績評価の方法	出席			
履修上の指示	できれば自分の楽器を持参してください。 学校の楽器を使用する場合は取り扱いに十分注意してください。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	70	パーカッションアンサンブル	6単位	通年
指導講師	上原 なな江 / 清田 裕里江			
授業のテーマ	様々なパーカッションへの体験を通して奏法と知識を獲得、更にリズム感もアップ！！ 楽曲を用い表現の幅を広げる。			
授業計画及び内容	<p>アンサンブル作品やリズムに触れ、チームメイトと共に演奏する醍醐味を感じながらパーカッションならではの「サウンド感」「ビート感」をリアルに体感。</p> <p>自分自身の身体を開放し、最も自分に適した自然な息づかいで演奏出来るスタイルを身につけ、それぞれの個性を活かした「アンサンブル」を行う。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サマーコンサート 2026年7月21日(火) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●国立祭 KMA Proms 2026年12月16日(水) 会場：渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール ●その他、学院主催のコンサート 			
教材・参考書	プリントを配布します。スティック、筆記用具を持参して下さい。			
成績評価の方法	出席状況、学習に取り組む姿勢。			
履修上の指示	一人でも欠席があると進行に支障を生じる可能性があるため、やむを得ない場合エキストラを立てるなど穴の空かない対応をして参加する事。楽譜の管理は各自が責任を持つ事。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	71	小編成吹奏楽	6単位	通年
指導講師	箕輪 健太			
授業のテーマ	吹奏楽、アンサンブルの基礎を学びながら自身の音楽を深め、楽曲に取り組んでいきます。 吹奏楽指導者を目指す方は楽曲づくりの過程などを学ぶこともできます。			
授業計画及び内容	<p>この授業は数ある合奏形態の中から吹奏楽を通して楽しく音楽を深めていくクラスです。 吹奏楽の経験有無に関わらず誰でも履修ができます。 授業の前半は基礎合奏教材を使いながら合奏の基礎（音程、ハーモニー等）など実践に役立つ音楽づくりを探究していきます。 授業後半では吹奏楽曲を演奏しながら演奏者の皆さまと一緒に楽曲を練習、そして仕上げていきます。</p> <p>国立音楽院主催の各種コンサートへの出演もあります。 気になる方は是非一度授業にいらしてください。</p>			
教材・参考書	適宜楽譜やプリントを配布します。			
成績評価の方法	出席状況と学習に取り組む姿勢での総合評価。			
履修上の指示事項	可能な限り自分の楽器を持参してください。 学校の楽器を使用する場合は取り扱いに十分注意してください。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	72	ウインドオーケストラ	6単位	通年
指導講師	成田 徹			
授業のテーマ	吹奏楽を通じ音楽及び人間関係について学ぶことを目標に、より高度な技術を身につける。			
授業計画及び内容	<p>ある程度の楽器演奏経験者を募集します。演奏会前には集中練習を行います。</p> <p>使用楽器について、管楽器は奏者による一体感と個性を表現するため、自分の所有楽器を理想とします。ただし、特殊楽器についてはその限りではありません。</p> <p>また指導にスムーズについてくるため、楽語や奏法などは良く理解しておいてください。すばらしいコンサートの実現の為に、皆で一丸となって頑張らしましょう！！</p> <p>(演奏発表予定)</p> <p>●ビッグバンド／ウインドオーケストラの響演 2026年10月9日(金) 会場：東京オペラシティ コンサートホール</p> <p>●ビッグバンド／ウインドオーケストラの響演 2027年3月11日(木) 会場：東京オペラシティ コンサートホール</p>			
教材・参考書				
成績評価の方法	出席と学習に取り組む姿勢。			
履修上の指示事項	演奏会前には集中練習があります。練習日程は掲示板をよく確認して下さい。			

【学科目区分：管弦打楽器】

番号：学科目名	73	オーケストラ	6単位	通年
指導講師	飯吉 高 / 小泉 奈美			
授業のテーマ	300年以上の歴史を持つ管弦楽形態による合奏で、古今東西の音楽に触れる。 合奏の楽しみを味わいつつ、技術の向上を目指す。 多様な楽器の仲間と触れ合うことにより、音楽的、人間的視野を広げる。			
授業計画及び内容	<p>音楽を学ぶ上で課題となるのは、各楽器の技術的なこと、音楽の構造的なこととともに、「合奏能力」があります。それは、ただ単に縦の線をあわせるということではなく、大勢でスケールの大きい音楽を創るということです。また、合奏を学ぶというのは、お互いを尊重、信頼しつつ、自分の責任を果たすことでもあります。管楽器奏者にとっては弦楽器と合奏することにより、音楽的イメージが更に広がることでしょう。弦楽器奏者は管楽器と共演することにより、音楽的プレスを実感したり、多様な色彩感を体験することでしょう。</p> <p>打楽器奏者は管弦楽の中で演奏することにより、幅広い音色を要求されて鍛えられることでしょう。現存する世界最古のコンサートオーケストラは、1743年設立のライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団だといわれています。これはなんとモーツァルトの生まれる13年前です。古今東西の何万という作曲家がオーケストラのために音楽を創ってきました。つまり、オーケストラのレパートリーは音楽の歴史そのものなのです。一つの楽器だけでは経験できない音楽の深みがオーケストラにはあります。授業ではクラシックを軸としつつも、いろんなジャンルの音楽を取り上げて楽しく音楽を学んでいきたいと思えます。</p> <p>(演奏発表予定)</p> <p>●春かおるオーケストラの響演 2027年2月23日(火・祝) 会場：昭和女子大学 人見記念講堂</p>			
教材・参考書	出来る限り個人所有の楽器を使用して下さい。特殊楽器に関しては相談に応じます。			
成績評価の方法	平常点。			
履修上の指示事項	管弦楽は弦楽器が主役ですので、弦楽器専攻生の多くの参加を希望します。すべての合奏系の授業に共通することですが、欠席すると全員に支障が出ますので、病気や忌引き以外は責任を持って出席して下さい。			